



松茂町「ゼロカーボンシティ」宣言

松茂町は、吉野川河口の三角州として形成された低地で、海と川に囲まれ、“水と緑”に恵まれた町です。

本町では、昔から農業や水産業が盛んに行われ、工業団地には多くの企業が立地しており、誰もが豊かな自然と共存し、安心して暮らせるまちづくりを進めています。

しかし、近年、世界中で地球温暖化が要因とみられる異常気象により過去に経験したことがないような集中豪雨や高温などの自然災害が発生しており、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。

2015年に合意、翌年に発効したパリ協定では、地球温暖化対策として、産業革命からの平均気温上昇を1.5℃までに抑える目標が国際的に広く共有されました。また、持続可能な開発目標（SDGs）のゴール13には「気候変動に具体的な対策を」が定められています。

日本においては、この目標を達成するため、2020年10月に政府が、「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、2021年4月には地球温暖化推進本部にて、2030年度までに温室効果ガス排出削減目標を2013年度比46%削減することを発表しました。

こうした国内外の動向を踏まえ、本町においては、将来にわたって町民の皆様が安心して生活できるよう、町民、事業者、行政が協働し、希望でつながり豊かに住み続けられる持続可能な地域社会の構築を目指します。

ここに、2050年までにCO₂（二酸化炭素）を実質排出ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて取り組みを進めることを宣言します。

2024年6月18日

松茂町長